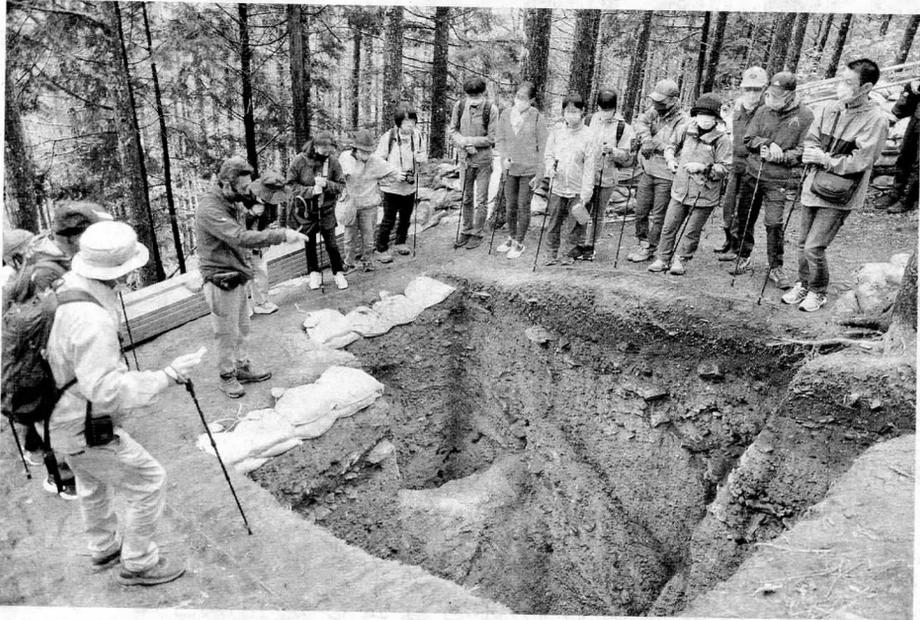


「星ヶ塔遺跡」ツアー 今年も

下諏訪町
観光振興局

初企画の町民向け割引も実施

下諏訪町観光振興局は今年も、日本で唯一確認されている同町の縄文時代の黒曜石岩脈採掘坑「星ヶ塔遺跡」を訪ねるツアーを行う。今回は新たに「黒曜石の流通をたどる旅」をテーマに、星ヶ塔遺跡特別見学と、静岡県、愛知県の縄文遺産を巡る2泊3日のツアーを企画。町民向けの割引日帰りツアーも初企画し、5月27日に実施する。
(樋口美世子)



人気が集まる星ヶ塔遺跡を起点にしたツアーは2022年5月

2021年にNHKの人気番組「ブラタモリ」で紹介されてから大人気となった星ヶ塔遺跡ツアー。3年目の今年も人気は健在で、日帰りや宿泊の各種ツアーのうち、6月のツアーから予約が埋まり始めている。

新商品の3日間ツアーでは、初日に町内の星ヶ塔ミュージアム矢の根やで事前学習後、星ヶ塔遺跡の現地を訪れる。

町内の温泉旅館に宿泊後、2日目は山梨県北杜市の金生遺跡へ。静岡県に移動し、浜松市博物館と蛸塚遺跡を見学し、浜名湖の雄踏温泉に宿泊。3日目は愛知県田原市の貝塚の博物館「シエルマよし」と吉胡貝塚を見学する。いずれの遺跡からも星ヶ塔遺

跡の黒曜石が出土している。南山大学人類学博物館や名古屋博物館も訪れる。

振興局職員は「今回は全国に流通した星ヶ塔遺跡の黒曜石の『南下』の流通をたどる。川や海を越えて、星ヶ塔遺跡の黒曜石がどのように運ばれていったのか、専門家の解説で学んでほしい」と話している。

ツアー出発日は6月7日、8月2日、9月13日。いずれも定員15人。価格は6万8000円〜8万7000円。予約は観光サイト「おいでなしてしむすわ」から。3000円割引引く町民向け割引ツアーは残りわずか。問い合わせは同振興局(電話0266・27・1800)へ。